

農 研 速 報

2026 年 8 月 14 日 発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL:0297-62-0206 FAX:0297-64-0667

麦の生育状況(龍ヶ崎市)

地 域 名	麦 種 (品種)	生育(作柄・品質)概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	11 月 14 日播種 小麦 (さとのそら) 六条大麦 (カシマムギ) (カシマゴール) 二条大麦 (ミカモゴールデン) 裸麦 (キラリモチ) 11 月 20 日播種 小麦 (さとのそら)	龍ヶ崎市の 2026 年産(2025 年播種)麦類における気象、生育経過、収量・品質の平年との比較は以下のとおりである。 1) 気象 <u>気 温</u>: 平均気温は、播種～12 月は平年よりかなり低く(平年差-0.4°C)、1月～2月、3月～4月はやや高く(いずれも平年差$+0.4^{\circ}\text{C}$)、5月はかなり高かった(平年差$+1.2^{\circ}\text{C}$) (図1)。 <u>降 水 量</u>: 降水量は、播種～12 月は平年比 53%とやや少なく、1月～2月は平年比 88%と平年並で、3月～4月は平年比 110%とやや多く、5月は平年比 70%と少なく推移した(図2)。 <u>日照時間</u>: 日照時間は、播種～12 月は平年比 96%と平年並、1月～2月は平年比 95%、3月～4月は平年比 94%とやや短く、5月は平年比 136%とかなり長く推移した(図3)。 2) 生育経過に対する気象の影響 11/14 播種では、播種～2月第4半旬までは、低温・少雨・寡照傾向で、草丈は低く、茎数は少なく推移した(図4、図5)。その後、2月下旬頃からは一時的な高温やまとまった降水により生育が進んだため、大麦・裸麦の出穂期は1日遅い～2日早く、小麦の出穂期は3日早かった。また、3月第6半旬～5月第6半旬までは、高温・多照傾向であったため、どの麦種も成熟期は平年より1～4日早かった(表1)。 11/20 播種の小麦では、播種後 90 日までは草丈は同等で、茎数は少なく推移した。それ以降は、草丈は高く、茎数はほぼ同等で推移した。出穂期は2日早く、成熟期も1日早かった。(図4)(表1)。 3) 平年と比べた各品種の収量・品質(表1) (11 月 14 日播種) <u>さ の そ ら</u>: 穂数はかなり少なく、一穂整粒数はかなり多かった。 整粒重は 76.7kg/a とかなり重く、整粒歩合はかなり高かった。 千粒重、容積重は重く、タンパク質含有率は同等だった。

カシマムギ: 穂数はやや少なく、一穂整粒数は多かった。
整粒重は 59.9kg/a とかなり重く、整粒歩合はかなり高かった。
千粒重は重く、容積重はかなり重かった。タンパク質含有率は同等だった。

カシマゴール: 穂数は同等で、一穂整粒数は多かった。
整粒重は 59.9kg/a とかなり重く、整粒歩合は高かった。
千粒重、容積重はかなり重く、タンパク質含有率はかなり高かった。

ミカモゴールド: 穂数は同等で、一穂整粒数はかなり多かった。
整粒重は 44.0kg/a とかなり重く、整粒歩合はかなり高かった。
千粒重、容積重はかなり重く、タンパク質含有率は高かった。

キラリモチ: 穂数はやや多く、一穂整粒数は同等だった。
整粒重は 42.5kg/a と重く、整粒歩合は同等だった。
千粒重は同等で、容積重はかなり重く、タンパク質含有率は同等だった。

(11 月 20 日播種)

さとのそら: 穂数は同等で、一穂整粒数は多かった。
整粒重は 68.5kg/a と重く、整粒歩合はかなり高かった。
千粒重はかなり重く、容積重は重かった。タンパク質含有率はやや低かった。

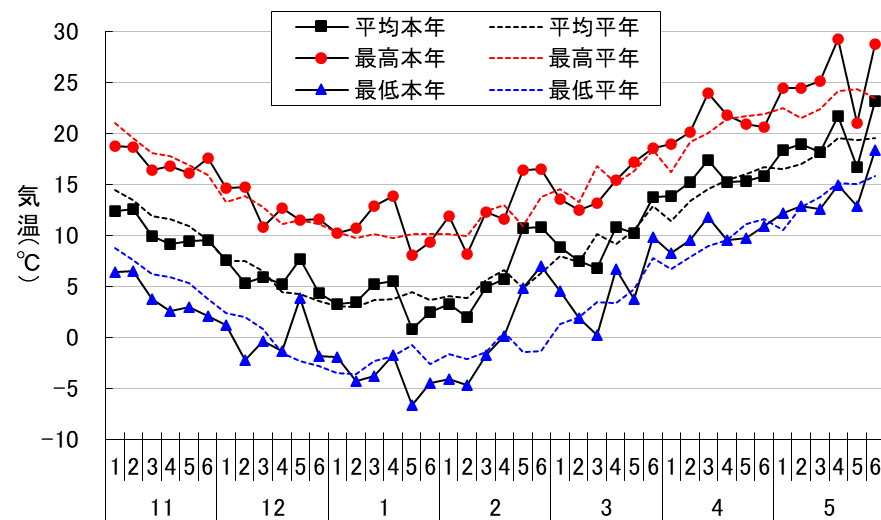


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)
 (注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

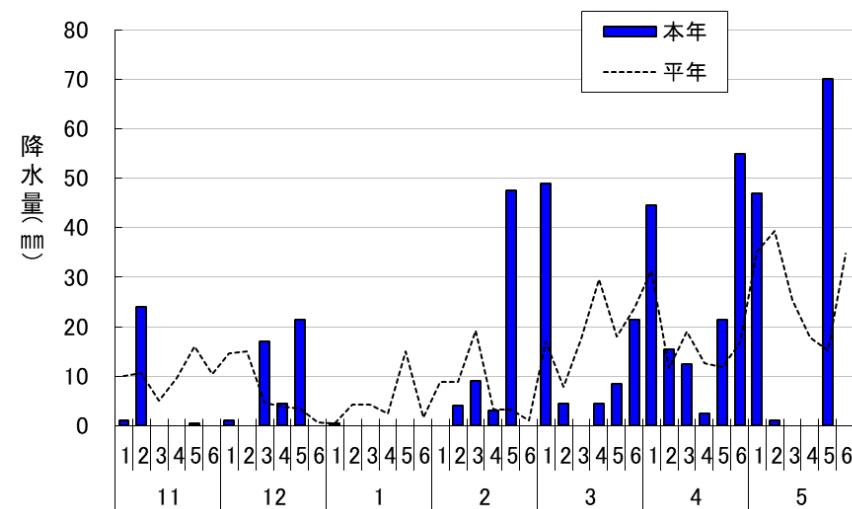


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)
 (注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

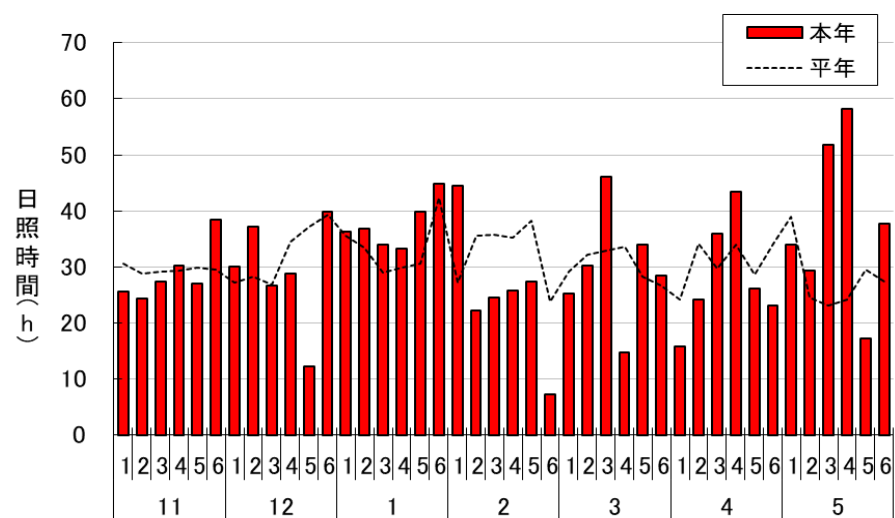


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)
 (注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

表 1 輪換畑における麦類の生育及び収量・品質（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

播種期 (月. 日)	麦種	品種名	出穂期			成熟期			倒伏程度			稈長			穂長		
			本年値 (月. 日)	平年値 (月. 日)	平年差 (日)	本年値 (月. 日)	平年値 (月. 日)	平年差 (日)	本年値 (0-5)	平年値 (0-5)	平年差 (0-5)	本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)
11. 14	小麦	さとのそら	4.6	4.9	-3	5.26	5.27	-1	0.0	0.0	0.0	88	86	103	9.2	8.4	109
	六条大麦	カシムムギ	3.31	4.2	-2	5.10	5.14	-4	0.0	2.5	-2.5	82	81	101	3.8	4.0	95
		カシマゴール	3.30	3.30	0	5.12	5.13	-1	0.0	1.1	-1.1	86	80	107	3.8	3.9	97
	二条大麦	ミカモゴールドン	3.31	3.30	1	5.9	5.11	-2	0.0	1.3	-1.3	95	87	109	4.8	4.9	98
	裸麦	キラリモチ	4.1	3.31	1	5.13	5.15	-2	0.0	0.0	0.0	82	77	107	6.3	6.4	98
11. 20	小麦	さとのそら	4.9	4.11	-2	5.28	5.29	-1	0.0	0.0	0.0	85	82	103	9.2	8.6	107
播種期 (月. 日)	麦種	品種名	穂数			一穂整粒数			㎡当たり整粒数			整粒重			整粒歩合		
			本年値 (本/㎡)	平年値 (本/㎡)	平年比 (%)	本年値 (粒)	平年値 (粒)	平年比 (%)	本年値 (万粒)	平年値 (万粒)	平年比 (%)	本年値 (kg/a)	平年値 (kg/a)	平年比 (%)	本年値 (%)	平年値 (%)	平年差
11. 14	小麦	さとのそら	617	751	82	31.6	22.2	143	1.95	1.70	115	76.7	62.4	123	98	94	4
	六条大麦	カシムムギ	533	618	86	33.7	25.5	132	1.80	1.50	120	59.9	44.9	133	90	76	14
		カシマゴール	567	544	104	31.9	26.6	120	1.81	1.57	115	59.9	46.9	128	91	80	11
	二条大麦	ミカモゴールドン	703	735	96	14.4	11.0	131	1.01	0.80	126	44.0	33.2	133	85	76	9
	裸麦	キラリモチ	803	671	120	13.7	15.5	88	1.10	0.97	113	42.5	37.1	115	89	90	-1
11. 20	小麦	さとのそら	707	725	97	24.2	22.3	109	1.71	1.60	107	68.5	61.1	112	98	94	4
播種期 (月. 日)	麦種	品種名	千粒重			容積重			タンパク質含有率			外観品質			検査等級		
			本年値 (g)	平年値 (g)	平年比 (%)	本年値 (g/l)	平年値 (g/l)	平年比 (%)	本年値 (%)	平年値 (%)	平年差 (%)	本年値 (1-9)	平年値 (1-9)	平年差 (1-9)	本年	前年	前々年
11. 14	小麦	さとのそら	39.3	37.7	104	840	827	102	8.5	8.8	-0.3	5.0	5.5	-0.5	1	1	1
	六条大麦	カシムムギ	33.3	31.4	106	731	698	105	8.3	7.9	0.4	5.0	5.4	-0.4	1	2	2
		カシマゴール	33.1	31.0	107	739	712	104	8.0	7.2	0.8	5.0	5.4	-0.4	2	規格外	2
	二条大麦	ミカモゴールドン	43.6	42.3	103	758	728	104	7.5	7.0	0.5	4.0	5.8	-1.8	1	1	1
	裸麦	キラリモチ	38.7	38.1	102	859	845	102	8.3	8.3	0.0	5.0	4.9	0.1	1	1	1
11. 20	小麦	さとのそら	40.0	38.1	105	839	827	101	8.5	8.9	-0.4	5.0	5.3	-0.3	1	1	1

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換3年目（前作大豆）
2) 播種期：平年の播種期は11月10日、20日
3) 播種量：（小麦・六条）0.8kg/a、（二条）1.0kg/a
4) 播種様式：条間30cm、ドリル播き（シーダーテープによる）
5) 基肥：（小麦）N-P₂O₅-K₂O=1.0-1.0-1.0kg/a、（六条・二条）N-P₂O₅-K₂O=0.8-0.8-0.8kg/a
6) 麦踏み：2025年12月23日、2026年1月15日実施（11/14播種）。2026年1月15日、22日（11/20播種）。
7) 茎立期追肥：11/14播種小麦は2026年3月11日、11/20播種小麦は3月12日、六条は3月9日窒素0.4kg/a施用。裸麦は3月9日に窒素0.2kg/a施用。二条は未施用。

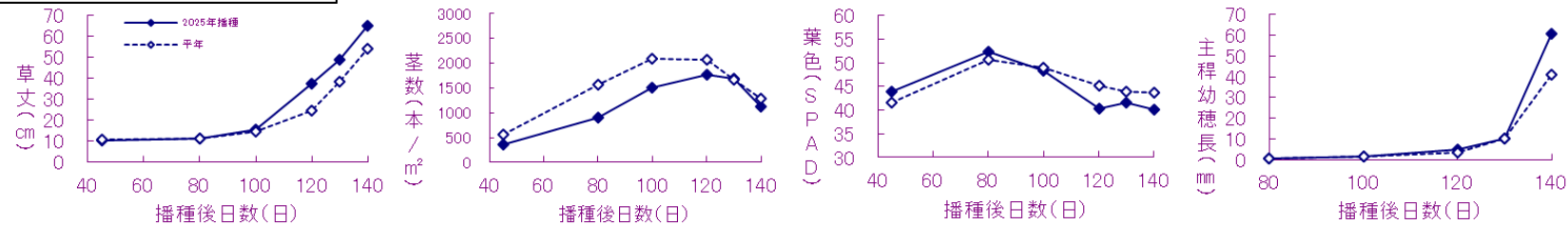
【注釈】

- 1) 倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階とした。
2) 大麦の成熟期の生育は5月8日調査、倒伏程度は5月11日調査、小麦の生育は5月22日調査、倒伏程度は5月25日調査
3) 一穂整粒数・㎡当たり整粒数は、穂数・整粒重・千粒重から求めた計算値。
4) サンプル調製は小麦:2.3mm、六条:2.2mm、裸麦:2.2mm、二条:2.5mmのグレーダーによる。
5) タンパク質含有率は近赤外分析（インフラテック1241型）により、水分13.5%換算値とした。
6) 外観品質:1(上の上)～9(下の下)
7) 検査等級:JA全農いばらきの農産物検査に準ずる(1:一等、2:二等、外:規格外)

【平年値】

2020年～2024年播種の5ヵ年の平均値、キラリモチは2024年に大幅な播種遅れがあったため2019～2023年播種の5ヵ年平均値とした。

11/14播種 さとのそら



11/20播種 さとのそら

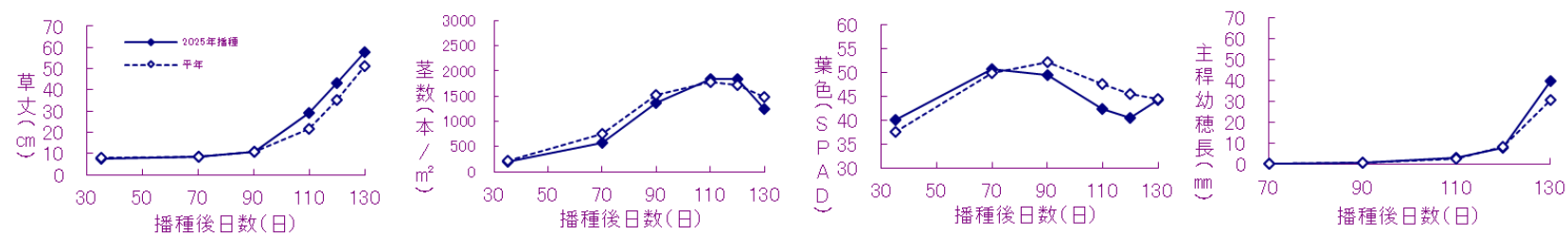
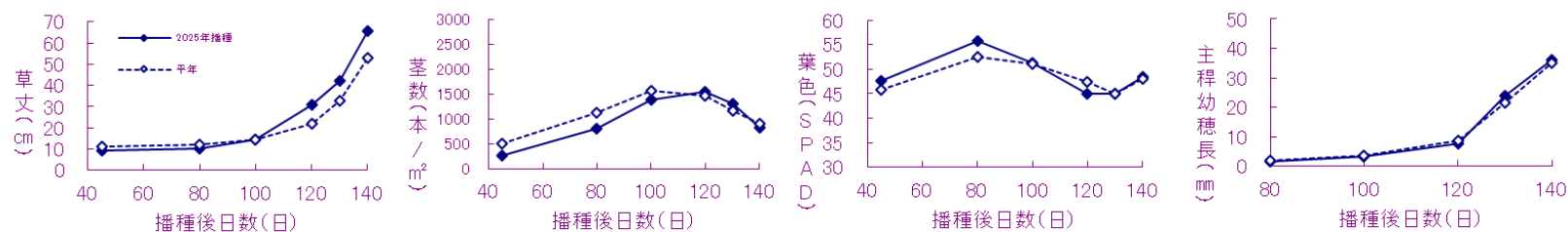
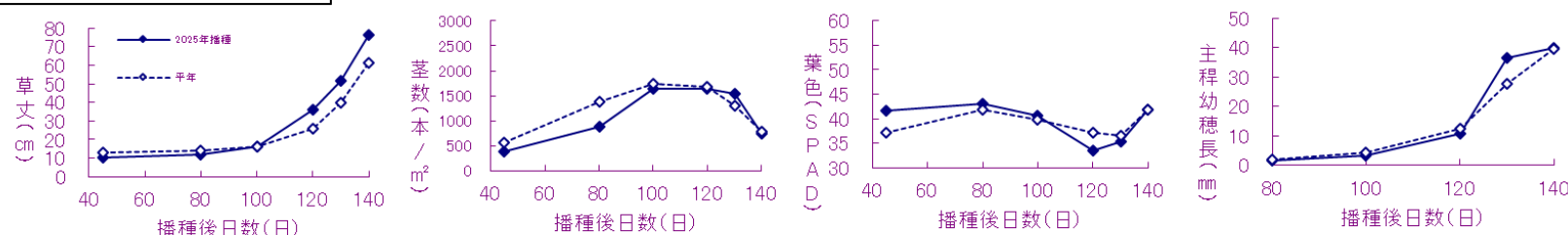


図4 2025年播種 所内小麦の生育の推移

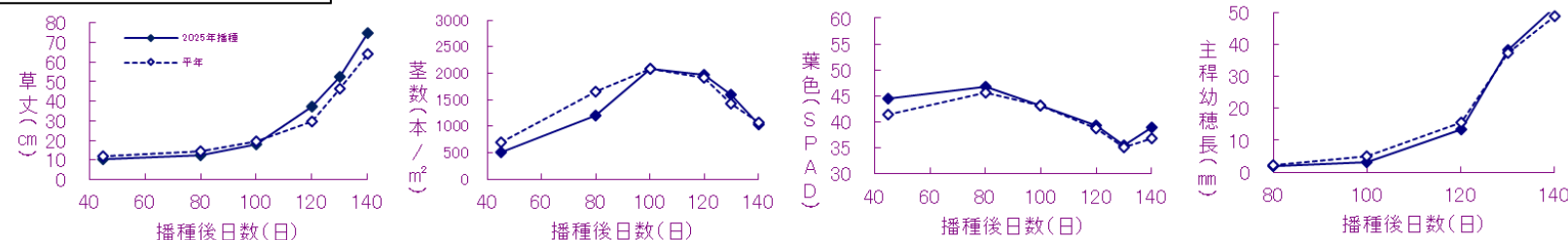
11/14播種 カシムムギ



11/14播種 カシマゴール



11/14播種 ミカモゴールド



11/14播種 キラリモチ

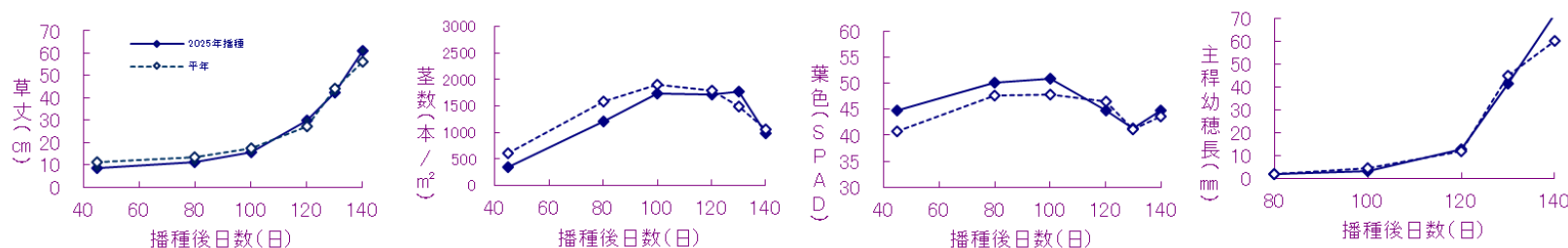


図5 2025年播種 所内大麦の生育の推移

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

